



よりよい町政へ

Q・食育の推進について問う

A・大人にも食育情報などをPRし、広めていく



岡島 政信 議員

春日井市東部調理場を視察研修した。私は、安全で安心して食べられる食生活について考えさせられた。

そこで、次の内容について問う。

Q 保護者の方に「家庭が食育に

おいて、重要な役割を有していること」を認識してもらう場はあるのか。また、朝の欠食の調査はしているか。

A 教育委員会事務局 親子ふれあい給食を

始め、学校保健委員会の行事等に参加し、保護者に食育についての理解を深めてもらう機会を設けている。

朝食をとらない児童・生徒は、小学校6%、中学校8%。引き続き、0%に向け、指導していく。

A 生活福祉部長 保護者が給食試食会

に出席し、講習会を受けさらに、食育をテ-

マした地域交流会を実施して理解を深めている。

Q 生産者の分かった食材、身体に

悪影響のない食材を、子どもたちに提供していると思う。そこで、食の安全対策は、どのようになっているのか。

A 生活福祉部長

産地の確認、業者からの納入時に、色、においなどを目視で確認している。必要に応じて、納入業者から検査証明書等の提示を求め、安全の確認を行い食材の使用確保に努めている。

A 教育委員会事務局

長 保育園で実施している対策の他、地産地消の観点から地元および愛知県産、愛知県以南産の食材使用に努力している。

Q 11月20日の新聞紙上で、親子が

子どもにサプリメントを与え、弊害が出ている内容の記事があった。

大人の食育はあまり広まっていないように感じる。大人への教育の推進をしていく考えはないか。

A 生活福祉部長、

教育委員会事務局

長 保護者へのPRは、保育園及び様々な学校行事の中で給食および各行事を通して、保護者等多くの方に広めていく。

また、保育園だより、ホームページ、広報ケーブルテレビを通じて、食育情報をPRしていく。



おいしい給食ありがとう